



Press Release

2005年10月3日

デジベリー、企業向ストレージ診断サービス事業を拡大 － 国内有カストレージ事業会社7社が参加 －

株式会社デジベリー（以下：デジベリー、本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：野渡 龍）は、企業内ストレージにおいて年々増加傾向にあるオフィスファイルなどの非構造化ファイルを診断しファイル分布、階層化提案、増加傾向予測に関するレポートを提供する企業向ストレージ診断サービスを拡大し「ファイルセンサス・アセスメントサービス」の事業パートナーにストレージ事業会社7社が参加したことを発表いたします。

企業内のストレージに保存されるデータ量は増加の一途をたどっており、すべてのビジネスデータの80%を占めるといわれるデータベース外にある文書、表計算、プレゼンテーションなどの非構造化ファイルは平均年率60%から80%のペースで増加、基幹業務系ファイルと同様の管理ポリシーではとても間に合わず、このギャップに苦悩するストレージ管理者は年々増えています。さらに多種多様なストレージ機器の混在、e-文章法やそれぞれの業種における法令やコンプライアンスの遵守義務が管理を複雑化し、ストレージの経済的運用に大きな障壁をもたらしています。

デジベリーが、事業パートナーを通じて提供する「ファイルセンサス・アセスメントサービス」は、同社が総販売元となっているストレージ管理ソフト「ファイルセンサス」を用いて複数のファイルサーバー、NAS や SAN などのストレージネットワーク上のディスクに存在する非構造化ファイルの詳細情報を収集し解析、情報ライフサイクルに基づくストレージインフラの最適化案をグラフと共に詳細なレポートとして提供するサービスです。

国内有数のストレージ事業会社との協業により企業顧客へのストレージ診断サービス提供を拡大し、欧米と比較して普及が遅れている非構造化ファイル（アンストラクチャード・ファイル）の情報ライフサイクル管理手法に基づくストレージインフラの適正化、運用管理コスト最適化提案を行ってまいります。

■「ファイルセンサス・アセスメントサービス」事業パートナー一覧
<http://www.digiberry.com/intermine/assessment.htm>

■「ファイルセンサス・アセスメントサービス」の概要

概要： 企業内のストレージネットワーク上の非構造化ファイルの詳細情報を収集し解析、情報ライフサイクル管理手法によりストレージの適正拡張、ストレージの階層化、コスト最適化提案を実施。

アセスメント対象： ディスク使用率、ファイルタイプ別分布、ファイル存在期間分布、機器別使用状況、重複ファイル分布、使用量予測、ストレージ階層化提案、等

アセスメントサービスの流れ：

1. アセスメントパートナーによるカウンセリング
2. サービス契約
3. 調査日時の設定
4. 現地調査（数時間）
5. レポートの作成
6. 納入

サービス価格： 200,000 円（税別）

■ファイルセンサス製品ホームページ
<http://www.digiberry.com/intermine/index.htm>

■デジベリーについて
社名： 株式会社デジベリー（ファイルセンサス総販売元）



<http://www.digiberry.com>

本社： 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707

設立： 2001年3月30日

資本金： 1,020万円

代表取締役： 野渡 龍

概要： コンピュータハードウェアの輸入、販売、
コンピュータソフトウェアのライセンス提供、販売

###

FileCensusはIntermine Pty Ltd.の登録商標です。すべてのその他のブランドまたは製品の商標は該当する企業に帰属します。

報道関係者お問い合わせ：

株式会社デジベリー 渡辺

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707

TEL:03-5797-0866

e-mail:inquiry@digiberry.com